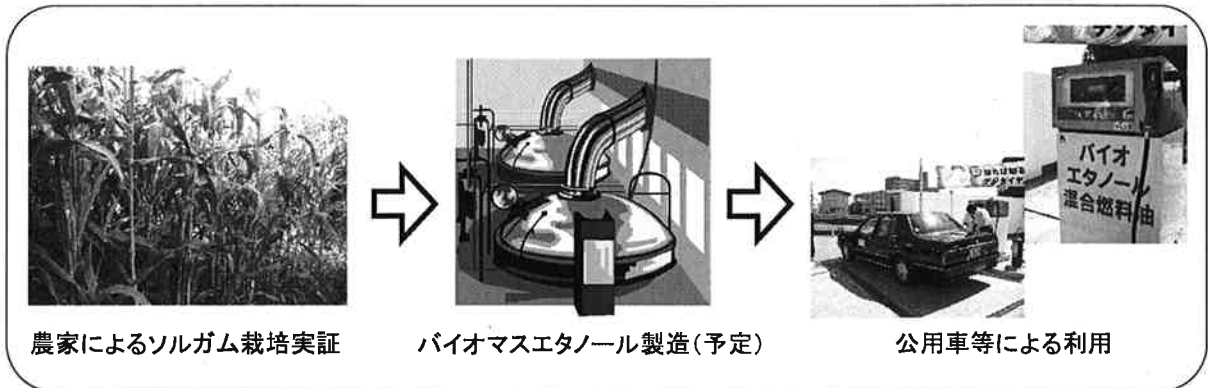


7. バイオマスエタノールの利用 ②

■ 地域におけるバイオマスエタノール活用事例

1. 北海道十勝地区(規格外小麦、トウモロコシ等)
2. 山形県新庄市(ソルガム)
3. 大阪府堺市(建築廃材等)
4. 岡山県久世町(製材所端材)
5. 沖縄県宮古島(サトウキビ(糖蜜))

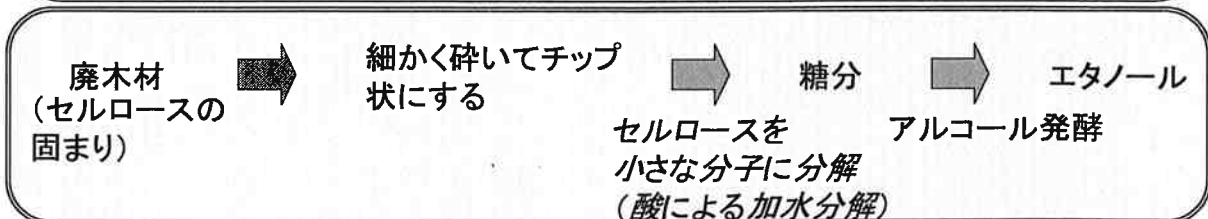
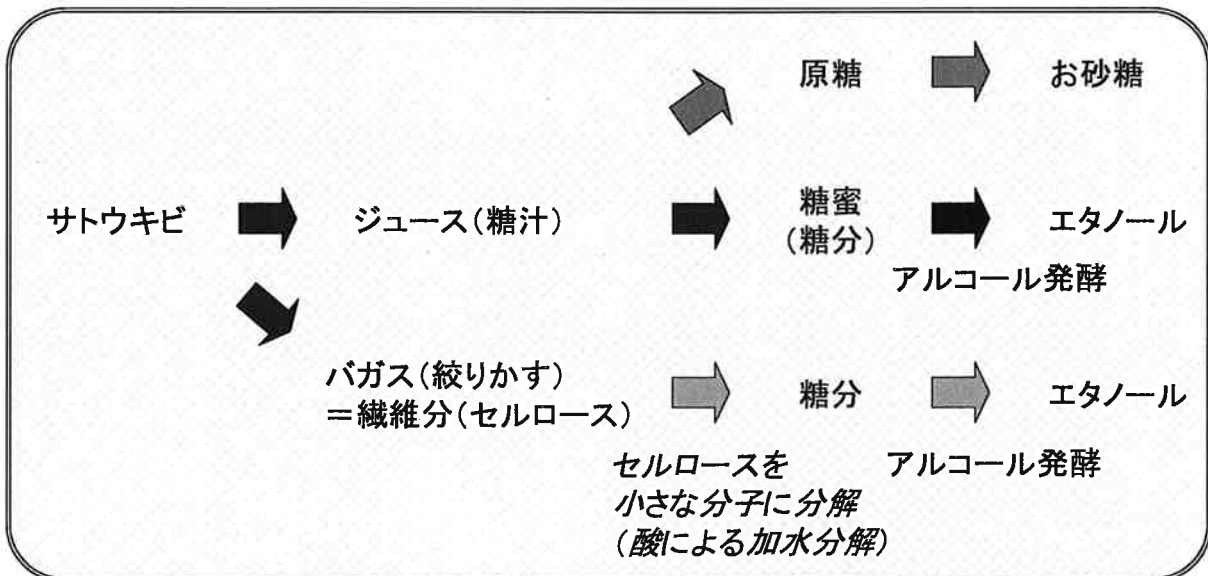
■ 具体例(山形県新庄市)



13

7. バイオマスエタノールの利用 ③

■ サトウキビ・廃木材からのエタノール製造フローのイメージ図

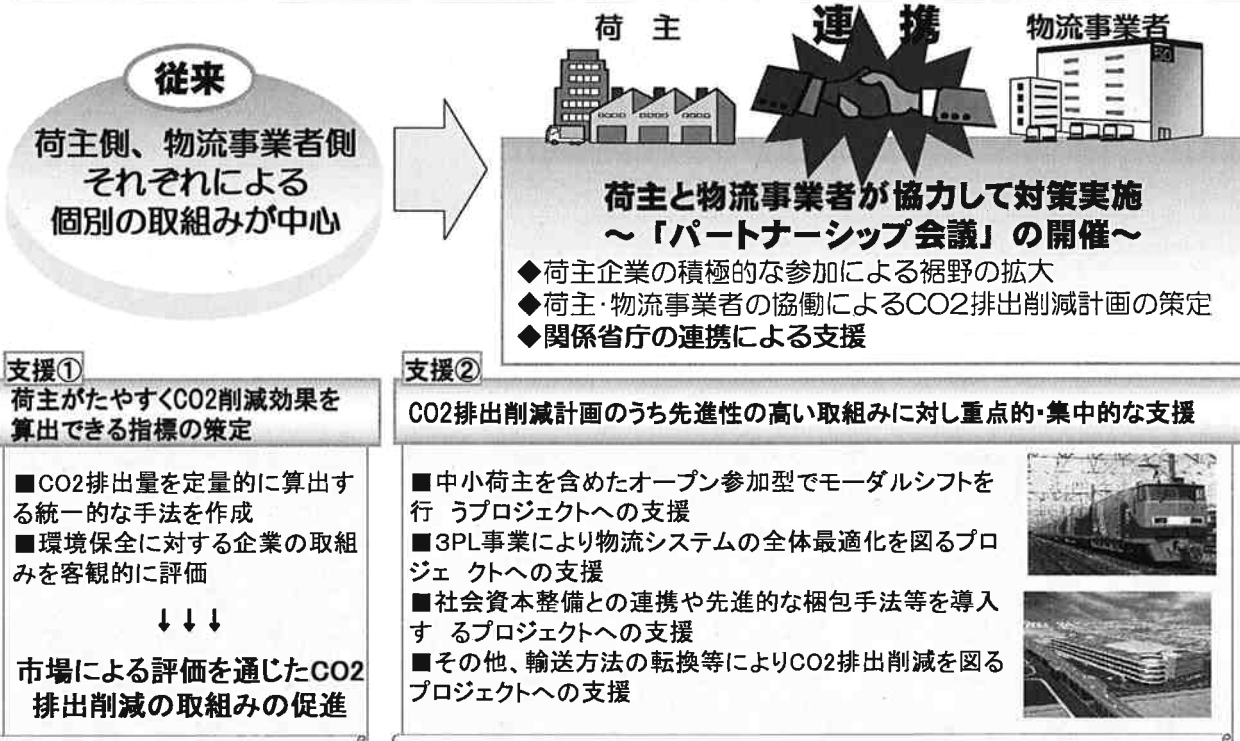


14

8. グリーン物流総合プログラムの推進(モーダルシフト、物流の効率化)①

(国土交通省・経済産業省)

物流事業者の「点」の対策に加え、荷主と物流事業者のパートナーシップの取組を進め、物流分野で約1,400万tのCO₂の削減(将来目標値に更に約500万t上乗せ)



15

8. グリーン物流総合プログラムの推進(モーダルシフト、物流の効率化) ②

スーパーエコシップ(SES)の開発・普及

(国土交通省・環境省)

第1ステップ ○スーパーエコシップフェーズ1の普及

電気推進システム
CO₂ 12～17%減



平成22年度末のCO₂削減量
(代替建造時選択率
2割と想定)

既存船からの代替建造
CO₂削減量年間約4万トン

SESフェーズ1(電気推進システムを活用した船舶)について、経済的支援(船舶の価格増分の一部を助成)及び技術的支援(設計・建造・修繕時の技術指導等)を実施。

第2ステップ ○スーパーエコシップフェーズ2の実証実験船開発

電気推進システム
スーパーマリンガスタービン
二重反転ポッドプロペラ
CO₂ 25%減

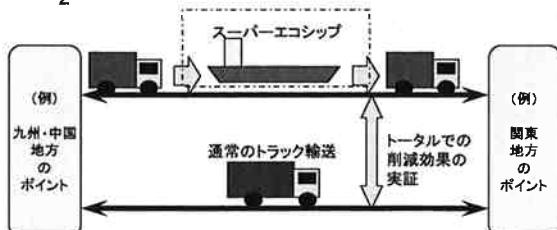


CO₂削減量が更に向上

CO₂削減量がフェーズ1の1.5～2倍

実証実験船の開発を推進するとともに、乗組制度・検査制度等の検討を行う。

○CO₂削減効果などの実証実験



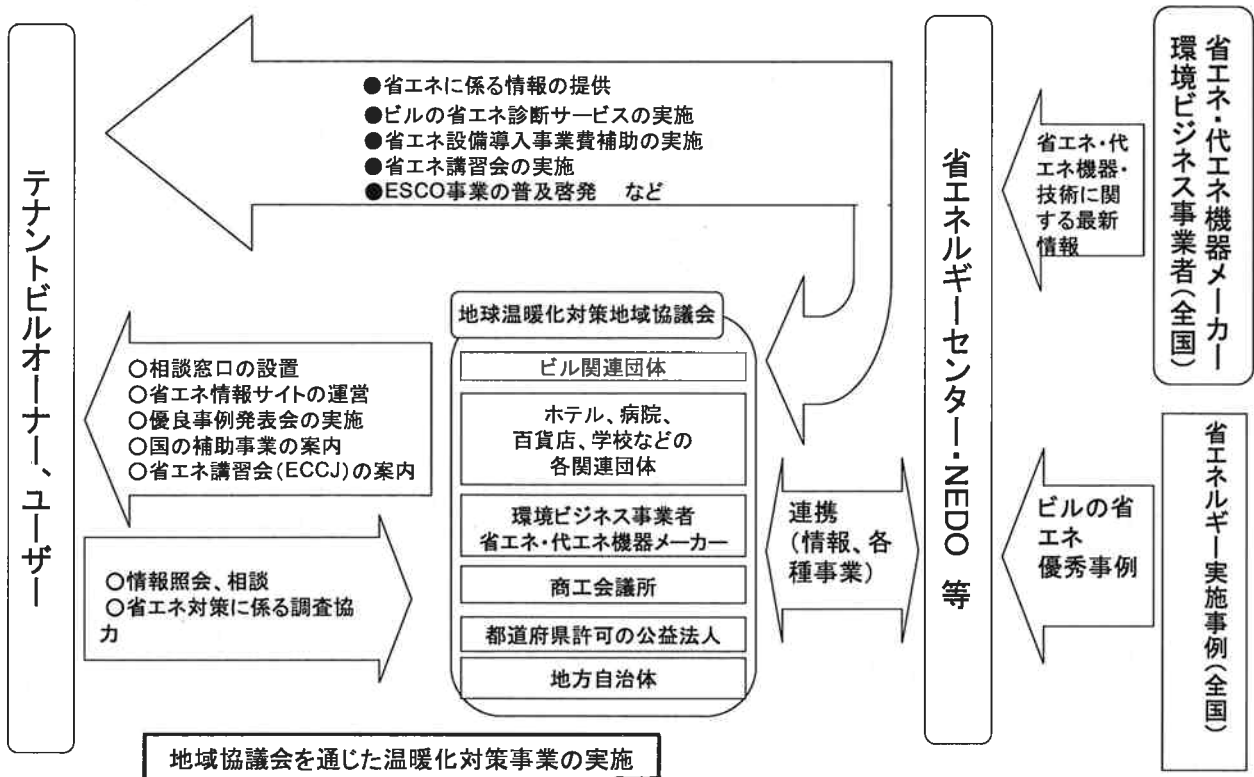
CO₂削減量の更なる向上
スーパーエコシップの実用化及び普及により、CO₂削減量をさらに一層拡大

国交省が開発補助する実証実験船を用い、環境省が、SES技術研究組合に対し、実証実験に必要な計測装置の開発の委託を行うことにより、CO₂削減効果や経済性などの実証実験を行い信頼性を確立。実用化及び普及を促進する。

16

9. 「くらしの省エネ」(オフィスビル編) 普及啓発事業

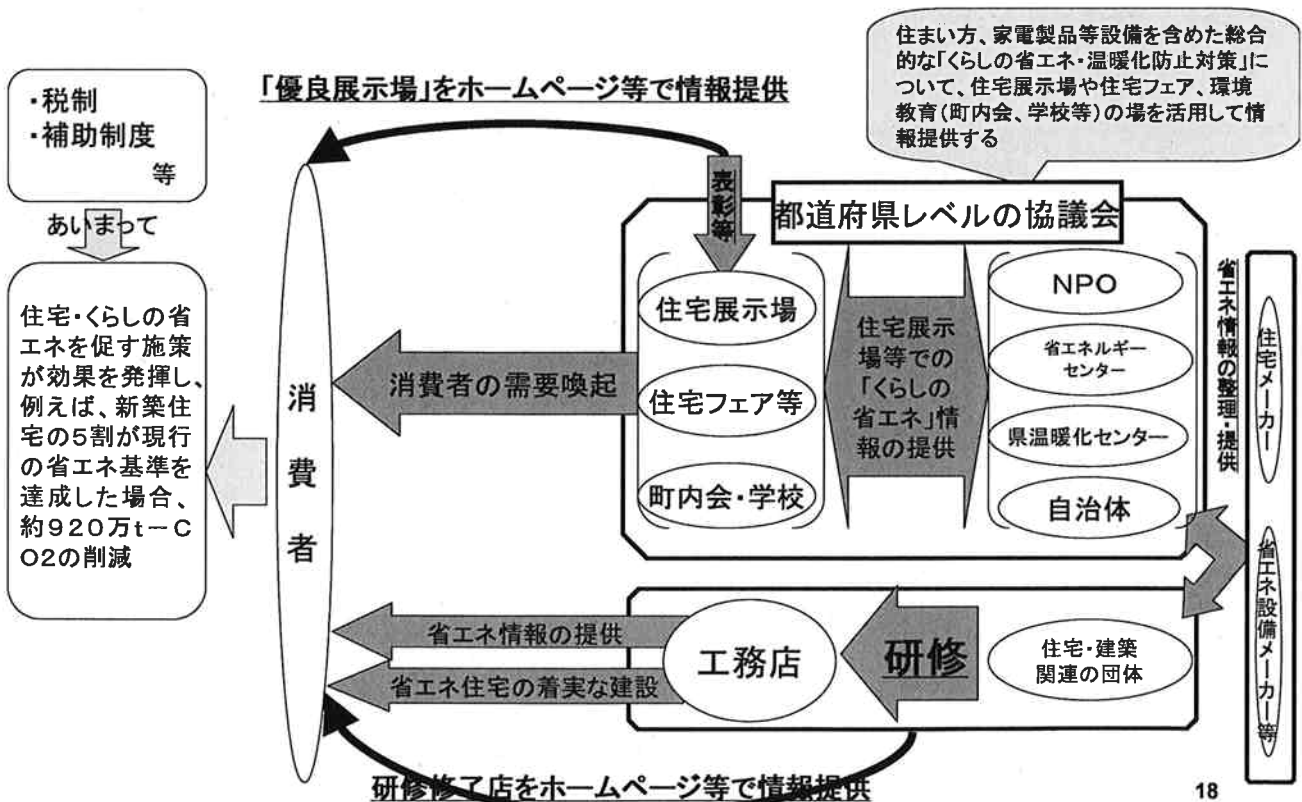
(国土交通省・経済産業省・環境省)



17

10. 「くらしの省エネ」(家庭編) 普及啓発事業

(国土交通省・経済産業省・環境省)



18

11. 省エネ(CO2)製品の普及促進

(経済産業省・環境省)

省CO2製品のメリット(例えば、最新式の冷蔵庫では、エネルギーコストが10年前の1/6)を販売時や家庭の省エネ診断を通じて周知することで省CO2製品の需要喚起。
500万~600万kI規模(原油換算)の削減を下支え。

<消費者>

